

貸室ご利用のご案内

角川庭園・すぎなみ詩歌館では、茶室のほか、各部屋を貸し出しております。句会・茶会・各種会合などにご利用ください。



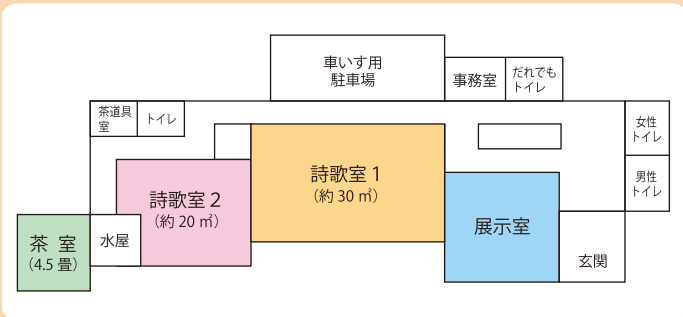
部屋名	面積	定員	利用料金 ()内はさざんかーど登録団体の料金		
			午前 午前9時から正午	午後 午後1時から午後5時	延長料金
詩歌室1	約30㎡	20名	1,300円 (900円)	1,800円 (1,200円)	500円 (300円)
詩歌室2	約20㎡	10名	900円 (600円)	1,200円 (800円)	200円 (100円)
茶室	茶室 4.5畳 水屋 2畳	5名	600円 (400円)	900円 (600円)	100円 (100円)

[平成27年1月現在]

お申し込み方法

- ◆杉並区公共施設予約システム「さざんかねっと」から予約してください(事前に利用者登録が必要です)。
- ◆利用日の3か月前の15日よりお申し込みいただけます。
- ◆詩歌でご利用の団体は優先的な予約ができます。(角川庭園にて詩歌団体登録が必要です。詳しくはお問い合わせください)

間取り



利用上のご注意

- ◆施設内への飲食物及びペットの持ち込みはできません。
- ◆当施設には一般の駐車場はございませんので、車でのご来園はご遠慮ください。

角川庭園 周辺見どころ案内図



角川庭園まで
JR 中央線・東京
メトロ丸の内線
荻窪駅南口から
徒歩 15分 (約1km)



①長屋門
長屋門は第11代将軍家齊が寛政年間に鷹狩の際、作らせたといわれています。



②西郊ロッジング
昭和初期に贈り付き高級下宿として建てられた建物です。国の登録有形文化財です。



③読書の森公園
区立中央図書館に隣接し木陰で本が読める公園です。図書館側にガンジール像があります。



④大田黒公園
音楽評論家大田黒元雄氏の屋敷跡を杉並区が日本庭園として整備し公園にしました。



⑤善福寺川緑地
蛇行する善福寺川にそって豊富な緑と遊歩道があります。区内有数の桜の名所です。

杉並区立
角川庭園・幻戯山房 ~すぎなみ詩歌館~
住所 杉並区荻窪 3 - 14 - 22
電話 03 - 6795 - 6855
開園時間 午前9時から午後5時まで
休園日 毎週水曜日、12月29日から1月1日

杉並区立

角川庭園・幻戯山房

~すぎなみ詩歌館~



四季折々の草花と俳句の楽しめる庭園



角川庭園の沿革

角川庭園は、俳人で角川書店の創設者である角川源義氏の旧邸宅を、杉並区が遺族から寄贈を受けて改修したものです。平成21(2009)年5月10日に区立公園として開園しました。建物は昭和30(1955)年竣工の



木造二階建瓦葺近代数寄屋造で、平成21(2009)年11月に国の登録有形文化財に登録されました。

建物の建築当時この地は、緩やかな斜面の野菜畑で、その下は田んぼが広がる見晴らしのよい場所でした。庭園は、建物入り口付近にアカマツ・ウメを植え、茶室の前には武蔵野の雑木林を思わせるコナラ・エゴノキ・ホオノキなどを配しています。昭和35(1960)年頃隣接する田んぼは埋立てられ荻窪団地が建設されたため、南側にシラカシを植えて目隠しとしました。

庭園は建設時の源義氏の考え方を受け継ぎ、俳句に相応しい野趣あふれる庭園を維持し、四季折々の花や草木を楽しむことができます。



建物

▲ 展示室
玄関を抜けて左が旧応接間を改装した展示室です。角川源義氏の俳句、写真や所蔵品を展示しています。



▲ 詩歌室
句会、講座、勉強会などに貸し出しています。

京土壁や面皮柱を用いた木造2階建の近代数寄屋造りの住宅です。設計は俳人としても知られている建築家加倉井昭夫氏(1909~1988)。角川源義氏は昭和30年5月に転居。庭に面して配置された各部屋は、開放的で明るい空間となっています。

茶室



▲ 水屋 茶室には二畳の水屋が付属しています。



▲ 茶道具室 茶道具は源義夫妻が愛用したものも含み無料で貸し出しております。茶碗から軸まで揃い、充分楽しむことができます。



庭園



▲ 石畳の小径

園内に入って左手の庭に続く道は、建築当時のもので、自然石を組み合わせた石畳です。

▲ 芭蕉

松尾芭蕉にちなんで角川庭園のエントランスのシンボルツリーです。毎年バナナのような実をつけます。「花芭蕉・破れ芭蕉・青芭蕉」は俳句の季語にもなっています。



◀ 荻(おぎ)

荻窪の由来にもなった荻は、玄関奥の井戸端でご覧になれます。



▲ 芭蕉の花

▲ 水琴窟

つくばいから水を流すと心地よい音色が楽しめます。



▲ 句碑

水琴窟のそばには源義氏が霧ヶ峰で詠んだ句碑があります。